

テーマ1 若者が住みやすくなる・Uターンしたくなるまちづくり

【まちづくりの目標像】 仕事も仲間も丸ごと活力あふれる四街道

課題	対策	市の役割	市民の役割	団体等の役割
課題1 年代に応じた集まる場所、居場所をつくろう！	対応策1 公共施設等を活用し、若者の居場所を提供し、PRする	<ul style="list-style-type: none"> 「わろうべの里」等の市内公共施設等において、若者の利用促進を図る。 市ホームページやSNS等の多様な情報媒体での情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者の居場所について、SNS等を活用して広くPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体は若者が利用できる公共施設等について、SNS等の多様な情報媒体でPRをする。
	対応策2 いざというときのための防災、救急等への対策を強化し適正化を図る	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線放送の難聴地域に対しては、隣接市と連携して相互に補充し合う。 救急車の適正利用がされるよう、市民に啓発する。また、条例を作り、一部有料化を図ることを検討する。 		
	対応策3 生涯学習、団体活動を充実し、交流の場を提供する	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習における若者向けのカリキュラムを充実させる。 若者や学生のニーズを把握し、居場所の確保に努める。 若者の行動範囲となる近隣市の図書館・文化施設等について、市町村の枠を超えた相互利用の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者向けの学習講座について、SNS等を活用してPRする。 若者が望む市内の居場所について市等に要望を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体等が、自治会館や集会所を利用し、若者向けの寺子屋のような活動を行う。 団体等（事業所、市民活動団体等）が、若者（各年齢層①小中学生、②高校生、③大学生）向けのイベントを実施する。
	対応策4 若者の利用ニーズにあわせて公園を整備し、PRしていく	<ul style="list-style-type: none"> ボール遊び等ができるスペースを各地区の公園に設ける。また、空き地の利活用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズに合わせた公園等の利用について、SNS等を活用してPRする。 	
	対応策5 フェス等を誘致し、若者向けの店舗を確保するなど、イベントを盛り上げる	<ul style="list-style-type: none"> 若者と商業施設等とのコラボイベントを企画・開催する。 空き店舗等のフリースペースを活用した若者向け店舗の誘致を図る。 商業施設等の誘致の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者向けフリースペース等について、SNS等を活用して友達等にPRする。 四街道を楽しむ。 市内商業施設等を利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者と商業施設等とのコラボイベントを企画・開催する。 若者向けフリースペース等を確保する。
	対応策6 若者向けの情報発信やアイデアを取り入れる体制づくり等を進める	<ul style="list-style-type: none"> 若者向けタウン情報誌を企画、発行する。 若者のアイデアを取り入れる体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者は、自主性を持ちながら生活し、積極的にまちづくりに参画する。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者向けタウン情報誌を市と協力して企画、発行する。
課題2 将来のライフステージを自ら見通すことができるまちをつくろう！	対応策1 親（社会人）となることへの自覚を促す社会（成人）教育を進める	<ul style="list-style-type: none"> 親（社会人）としての自覚を促す社会（成人）教育を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者同士が意見交換する。経験者から学べるような機会・イベントの企画に参加する。 子育て世代と若者が関われるイベントを企画・開催する。 	
	対応策2 いざというときに活動できるように、若者の防災意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> イベント等で消防車（はしご車等）の試乗を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者が関われる防災活動に実施する。 	
	対応策3 学校教育や職場体験等を通して、ライフステージ毎のまちでの生活スタイルを考える	<ul style="list-style-type: none"> 「ライフステージ毎のまちでの生活スタイル」をPRする。 市内の学校予算を充実させる。 職場体験などを通じた学習の場を充実させる。 様々な業種の方（退職者含む）を教育現場で活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験などのイベントに参加する。 定住者が市の魅力やライフステージ毎のまちでの生活についてPRする。 これまでの経験等の知識を教育現場で生かす。 	
	対応策4 市の良さをPRし、若者のニーズを把握しながら、住みやすい住環境を整える	<ul style="list-style-type: none"> 市の住みやすさ、住みにくさに関するアンケートを実施する。 豊かな自然環境や住環境等の住みやすさをPRする。 踏切の高架化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の住みやすさ、住みにくさに関する市からのアンケートに協力する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体において豊かな自然環境や住環境等の住みやすさをPRする。
	対応策5 若者の定住やUターンのきっかけとなるイベントやコミュニティを充実させる	<ul style="list-style-type: none"> 「成人式」「同窓会」「婚活」等若者の定住やUターンを促進するイベントを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> イベント参加時の同級生や友達への声掛けを行う。 若者も含めた、多世代の地域コミュニティの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 「成人式」「同窓会」「婚活」等若者の定住やUターンを促進するイベントを充実させる。
課題3 若者が愛着をもてる住環境をつくろう！	対応策1 地域への愛着を育むための祭りやイベントを充実させる	<ul style="list-style-type: none"> 各地域での祭りやイベントの開催を支援する。 市外に向けて広く祭りやイベントをPRする。 市民歌づくりを主導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地域での祭りやイベントを企画し、参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地域での祭りやイベントを企画する。 〇〇フェス開催の誘致を図る。
	対応策2 若者が愛着をもてる安全・安心な地域づくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線放送を完全聴取可能にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 近所の見回り、状況把握を常時行い、災害・事故を未然に防止するための積極的な意識を自らが持つ。 防災訓練など積極的に参加し、SNSで発信する。 社会生活の中での安全と危険な事象の弁別能力を身につける。 	
	対応策3 四街道の歴史文化をPRすることで、愛着と交流を育む	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中高等学校の児童生徒に対し、歴史文化や特徴をPRする。 若者へ歴史散策等の活動を促す等のPRをする。 教員に充実した研修の機会を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> 祭りやイベントに積極的に参加する。 四街道市の歴史講座に参加する。 	
	対応策4 豊かな自然環境をPRし、愛着の持てる良好な住環境を形成する	<ul style="list-style-type: none"> 住宅リフォームや省エネルギー設備等への補助を行い、良好な住環境を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> まちの自然環境に興味をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然環境（植物、動物等）のPR、自然に触れる機会をつくる。
	対応策5 特色あるまちなみを整備し、タウン情報の発信やイベントを開催し、市への愛着を育む	<ul style="list-style-type: none"> 「ガス灯のまちなみ」等個性あるまちづくりを推進する。 商工会が発行するタウン情報誌の支援をする。 農業を活かした市民イベントの開催を支援する。 耕作放棄地や遊休農地を積極的に活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> まちの店舗を利用する。 市民イベントに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会によるタウン情報誌を発行、PRする。 農協や農家による農業を活かした市民イベントを開催する。
	対応策6 市や市民活動団体等による子ども・若者向けの活動を拡大する	<ul style="list-style-type: none"> 市に関連する著名人の招聘によるイベントを開催する。 市民活動団体の子供・若者向けの活動に対して支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民公募に積極的に参加する。 市民活動団体等のイベントに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「みんなで地域づくりセンター」等による、子供・若者向けの活動の拡大を図る。